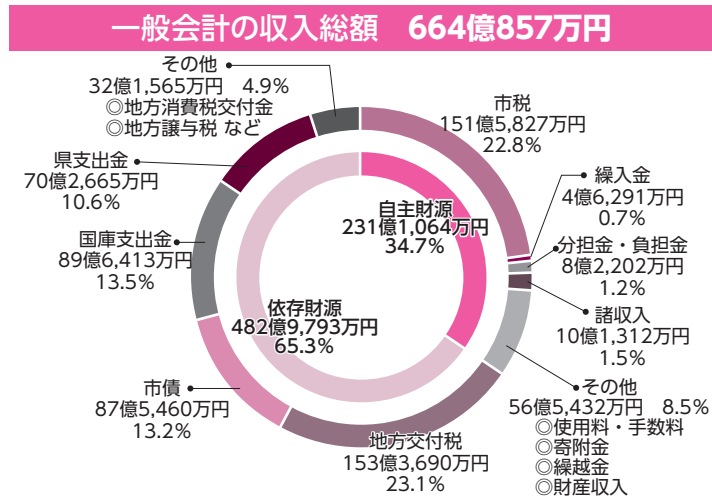


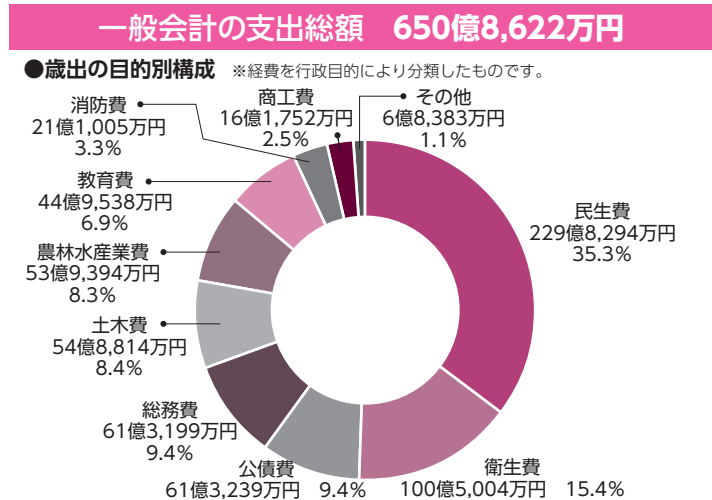
決算報告

決算は家計に例えると、1年間の家計簿を収入と支出に分け、それぞれ給料や借入金、食費や医療費など大まかな項目ごとにまとめたもので、それを示し、結果を見つめ直すことによって、今後の家計（市政）に生かしていくというものです。

平成30年度の八代市の家計（一般会計）は、歳入総額664億857万円、歳出総額650億8622万円の差し引き13億2235万円から翌年度へ繰越すべき財源1億7176万円を差し引いた11億5059万円の黒字となり、令和元年度への繰越金となります。



	歳入の種類	H 29	H 30	増減額
自主財源	市税	150億6,556万円	151億5,827万円	9,271万円
	繰入金	23億3,597万円	4億6,291万円	△18億7,306万円
	分担金・負担金	8億4,918万円	8億2,202万円	△2,716万円
	諸収入	12億6,424万円	10億1,312万円	△2億5,112万円
	その他	44億7,851万円	56億5,432万円	11億7,581万円
依存財源	小計	239億9,346万円	231億1,064万円	△8億8,282万円
	地方交付税	161億1,238万円	153億3,690万円	△7億7,548万円
	市債	82億3,770万円	87億5,460万円	5億1,690万円
	国庫支出金	122億2,211万円	89億6,413万円	△32億5,798万円
	県支出金	68億6,912万円	70億2,665万円	1億5,753万円
	その他	31億3,715万円	32億1,565万円	7,850万円
	小計	465億7,846万円	432億9,793万円	△32億8,053万円
	合計	705億7,192万円	664億 857万円	△41億6,335万円



費 目	H 29	H 30	増減額
民 生 費	231億9,419万円	229億8,294万円	△2億1,125万円
衛 生 費	94億8,072万円	100億5,004万円	5億6,932万円
公 債 費	61億1,313万円	61億3,239万円	1,926万円
総 務 費	55億3,326万円	61億3,199万円	5億9,873万円
土 木 費	61億7,369万円	54億8,814万円	△6億8,555万円
農 林 水 産 業 費	52億5,279万円	53億9,394万円	1億4,115万円
教 育 費	46億1,028万円	44億9,538万円	△1億1,490万円
消 防 費	22億4,820万円	21億1,005万円	△1億3,815万円
商 工 費	15億8,441万円	16億1,752万円	3,311万円
そ の 他	18億1,152万円	6億8,383万円	△11億2,769万円
合 計	660億 219万円	650億8,622万円	△9億1,597万円

特別会計決算			
事 業 名	H 30 年度		
国民健康保険	歳入	172 億 713 万円	
	歳出	176 億 3,199 万円	
	差引	△ 4 億 2,486 万円	
後期高齢者医療	歳入	17 億 4,632 万円	
	歳出	17 億 1,120 万円	
	差引	3,512 万円	
介護保険	歳入	150 億 7,243 万円	
	歳出	141 億 8,367 万円	
	差引	8 億 8,876 万円	
簡易水道事業	歳入	3 億 1,248 万円	
	歳出	3 億 1,248 万円	
	差引	0 万円	
農業集落排水処理施設事業	歳入	1 億 192 万円	
	歳出	1 億 192 万円	
	差引	0 万円	
浄化槽市町村整備推進事業	歳入	5,133 万円	
	歳出	5,133 万円	
	差引	0 万円	
ケーブルテレビ事業	歳入	4,499 万円	
	歳出	4,499 万円	
	差引	0 万円	
診療所	歳入	7,559 万円	
	歳出	7,559 万円	
	差引	0 万円	
久連子財産区	歳入	22 万円	
	歳出	12 万円	
	差引	10 万円	
椎原財産区	歳入	21 万円	
	歳出	11 万円	
	差引	10 万円	
合 計	歳入	346 億 1,262 万円	
	歳出	341 億 1,340 万円	
	差引	4 億 9,922 万円	

※端数処理のため計算結果が合わないことがあります。

公営企業会計決算				
会 計 名	H 30 年度			
水道事業会計	収益的収支	収入	5 億 4,605 万円	
	支出	4 億 5,285 万円		
	資本的収支	収入	3,779 万円	
	支出	2 億 4,320 万円		
病院事業会計	収益的収支	収入	3 億 4,944 万円	
	支出	3 億 5,289 万円		
	資本的収支	収入	8,251 万円	
	支出	8,344 万円		
下水道事業会計	収益的収支	収入	34 億 5,287 万円	
	支出	28 億 3,410 万円		
	資本的収支	収入	26 億 4,942 万円	
	支出	40 億 8,123 万円		

※収益的収支…1年間の企業経営に必要な全ての費用。

※資本的収支…将来の企業経営活動に備えた全ての費用。

健全化判断比率			
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は、毎年度決算時に健全化判断比率などを算定することが義務付けられました。（詳細は市ホームページに掲載しています。）			
		(単位：％)	
項 目	H 30 年度	備 考	
①実質赤字比率	黒字のため該当なし	早期健全化基準	11.68
		財政再生基準	20.00
②連結実質赤字比率	黒字のため該当なし	早期健全化基準	16.68
		財政再生基準	30.00
③実質公債費比率	10.1	早期健全化基準	25.00
		財政再生基準	35.00
④将来負担比率	91.3	早期健全化基準	350.00
		財政再生基準	

一般会計の収入（歳入）

八代市の家計（一般会計）は、家計でいうところの給料などに当たる「自主財源」と親からの仕送り（地方交付税・国県支出金など）や金融機関のローン（市債）などに当たる「依存財源」の2つに分けることができます。グラフを見ると、平成30年度は八代市の家計の65・3％が依存財源で構成されており、国や県の動向に左右されやすい財政状況であることが分かります。

なお、全体的には、昨年度よりも41億6335万円の減となっています。

一般会計の支出（歳出）

平成30年度は、総務費が新庁舎建設事業により約6億円、衛生費が環境センター建設事業により約5億7000万円の増となっています。一方、土木費が約6億9000万円の減となっています。

特別会計

特別会計は、一般会計とは別にそれぞれの事業ごとに独立した経営管理を行っているものです。

平成30年度は後期高齢者医療、介護保険、久連子財産区、椎原財産区が黒字、国民健康保険は赤字となりました。簡易水道事業、農業集落排水処理施設事業、浄化槽市町村整備推進事業、ケーブルテレビ事業、診療所は収支均衡となりました。

公営企業会計

公営企業会計は、地方公共団体が経営する法人格をもたない組織で、特別会計と同じように独立した経営管理を行っているものです。政令で指定された事業（給水事業・電気事業・病院事業・下水道事業・電気事業・交通事業など）を行う場合は、この経営形式をとらなければなりません。

なお、病院事業は平成30年度で廃止になりました。

市民一人当たりに使われたお金 511,259円

■費目ごとの内訳

民生費 180,533 円 ○保育所経費 ○生活保護費給付 ○障害福祉サービス給付	衛生費 78,944 円 ○環境センター（エコイトやつしろ）建設 ○こども医療費助成 ○各種検診・予防接種
公債費 48,170 円 ○市の借金返済	総務費 48,167 円 ○新庁舎建設 ○生活交通確保維持経費 ○ふるさと納税事務経費
土木費 43,110 円 ○道路・公園の維持管理・整備 ○橋梁・河川の維持管理・整備 ○公営住宅の管理・整備	農林水産業費 42,370 円 ○農業生産総合対策 ○産地パワーアップ ○イグサ・豊表生産体制強化
教育費 35,312 円 ○小学校・中学校施設耐震改修 ○公民館施設整備 ○パソコン教育推進	消防費 16,575 円 ○広域行政事務組合負担金 ○消防団活動経費 ○防災行政無線整備
商工費 12,706 円 ○八代港ポートセールス ○インバウンド向け観光資源強化 ○市内各種イベント開催経費	その他 5,372 円 ○土木施設・農林水産施設など災害復旧 ○議会運営経費